

“今回のよっしゃ！カードは「感謝」をテーマに募集をしました”

私のちいさなよっしゃ！

1. 最初の「よっしゃ！」をきっと忘れんとうね賞	
投稿者	Y 様
プロフィール	2021年入職 みのり館ケアヘルパー
タイトル	初心を忘れずにこれからも頑張ろうと思った事
内容	<p>ケアヘルパーとして入職し半月が過ぎました。障がい者施設での経験はありましたが、高齢者の方と関わらせていただくのは、学生時代の実習ぶりです。</p> <p>ある入居者様のシーツ交換をさせていただいた日の午後、その方から呼び止められました。“何かやらかしたかな…”と不安になりましたが、よくお話を聞いてみると、「枕に巻いていたバスタオルを交換してもらったが、それに自分の名前が書いてあったか確認がしたい」とのことでした。洗濯して、外に干してあったバスタオルの名前が記入された部分を見ていただきました。もう乾いていたので枕に巻かせていただくと、納得していただけた様子で「ありがとう」とポンポンと私の腕をたたいてニコッと笑っていただきました。</p> <p>これまで何度かお話をしたくても、難聴のため「聞こえにくいから」と言われ、うまく言葉のキャッチボールができずに終わってしまうことがありました。コロナウイルス感染防止のためマスクとフェイスシールドを装着していること、おまけに、私の声はあまり通る声ではないので、“ちゃんと伝わっているかな？”と思うことも多い中、今回は、入職したばかりの私に、あきらめずに話をしてくださり、お応えできたことが、少しでもお役に立てた気がして、「ありがとう」とかけていただいた言葉が、率直にとっても嬉しくて「よっしゃ!!頑張ろう」と思えた出来事でした。</p>
評	<p>「よっしゃ！プロジェクト」の原点ともいえる、ものすごく素直でシンプルによっしゃ！と思える瞬間をカードにて共有していただきました。このお仕事に興味を持ってもらいたい、入職してからの成長段階には、こんなによっしゃ！と感じられる出来事が沢山あると知ってもらいたいとの思いが、このプロジェクトの目的の一つでもあります。そのことを表現し、共有していただけたことに、求人推進チームとしてもよっしゃ！です。</p> <p>Y様にはこの思いをずっと忘れずにいて欲しいし、経験の長い人にも少しのことで勇気や元気をもらえた頃を思い出してもらえたらとも感じます。</p> <p>Y様は入職前からホームページにて、「よっしゃ！プロジェクト」を知ってくださっており、その方が入職後プロジェクトに参加し、ともに働くスタッフにも、これから入職を考えてくださっている方にも共有し、テンダーヒル御所を盛り上げてくださっていることに感謝！です。</p>

あの人のちいさなよっしゃ！

1. あなたのようにになりたい賞	
投稿者	N 様
あの人	ボランティア Y 様
プロフィール	N 様 2009年6月入職 わかば館看護主任及びデイサービス看護職
プロフィール	Y 様 2021年からボランティア開始
タイトル	人に喜ばれる事に喜びを見つける

内容	<p>わかば館では、毎週火・木曜日に栄養教室を開催しています。</p> <p>前任者が2か月前に退職し、館長、栄養士、介護職員A様と私とで『はつらつ料理食堂』として出発することになりました。栄養士が守ってくださるとは言えど、問題は調理・・・A様と私とは・・・。(A様ごめんなさい。)</p> <p>そこへ館長と栄養士とも旧知の間柄であるY様が、「館長のお誘いなら行くわ！」とボランティアで来てくださることになりました。「おはようさん！今日は何作る？」と元気に参加してくださるおかげで、何とも楽しい料理食堂が始まりました。</p> <p>みんなで調理をするには、各々の家庭でのやり方もあり、「どうする?」と悩む瞬間も、Y様が「これくらいいいよね～」と軽快な包丁の音を鳴らし、みんなが安心して進めるようにしてくださっています。</p> <p>「うまく揚がったね！」「ちょっと焦げたね～」「美味しそうにできたね。」「うん。美味しい！」と会話をしながら料理を楽しめるY様と利用者様の様子は、まるで女子会のような感じです。</p> <p>みんなでヨモギ餅を作ろう！という提案に、ヨモギを摘んでくと申し出てくださり、「秘密のきれいな土手で摘んできたよ!!」と大量に持ってきてくださいました。ヨモギ餅を頬べるみんなの様子をみて「よかった～みんな喜んでくれて嬉しい！」とおっしゃるY様は、人に喜んでもらえることに喜びをみつける、とても素敵な方です。</p> <p>料理食堂に来られる方のために、新たなチームで出発するために、ボランティアで参加して下さっているにもかかわらず一生懸命な姿、美味しいものをみんなで作ろうとされている姿、利用者様と関わっておられる時の楽しそうな姿、「私もここに来るとハリが出て楽しいわ」とおっしゃる笑顔。人の為に動き、人に喜んでもらうことに一生懸命で、人の喜びをご自身の喜びにかえていかれるY様。利用者様にとっても、チーム料理食堂にとっても、本当にかけがえのない素敵な方であり、尊敬と感謝の気持ちでいっぱいです。</p>
評	<p>Y様はその昔本館に給食業者の主任として勤務しておられた方で、今回ボランティアとして栄養教室をささえてくださるそのモチベーションと継続力に感謝いたします。</p> <p>施設内のスタッフ間でも、それぞれの価値観、福祉観などがあり、連携・協働することが難しいと感じることがありますが、テンドーヒル御所が考えるご利用者との関係性やどのような時間をすごしていただきたいかという思いをしっかりとくみ取っていただき、料理食堂の一員として盛り立て、しっかり支えてくださっていることに大変感謝いたします。また自分の喜びにもしてくださっていることに、地域との関りや、ボランティア様との協働について、私たちが教えていただき、他の事業にも活用させていただきたいと思えます。</p> <p>料理食堂がますます活気のある教室になるよう、Y様の周囲の人を元気にするパワーをいただけますよう、これからもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。</p>
2. そのアイデアはその人を思う心から生まれるので賞	
投稿者	K 様
あの人	U 様
プロフィール	K 様 2013年入職 デイサービス介護職
プロフィール	U 様 2008年入職 デイサービス介護職
タイトル	梅雨をふきとばすレクリエーションに感謝
内容	<p>コロナ禍で、感染予防のため季節を感じられる外出や料理レクリエーションを控えざるをえない状況が続いています。利用者様から毎年実施していた、こいのぼり鑑賞やあじさい鑑賞に「行きたいなあ」とのご希望をいただいていた。</p> <p>自肅により例年の催しができない中、U CWが自宅で作っている梅を持ってきてくださり、『梅はかりゲーム』を提案してくれました。ご利用者に、自身が1kgだと思えるところまで皿に梅を載せてもらい、一番近い方が勝ち！というゲームです。梅の香りが部屋にただよう中、ゲームを楽しみ、昔、梅を漬けたことや、梅酒、梅ジュースを作ったことなど、利用者様からとても嬉しそうに話をしてくださりました。</p> <p>U CWは、梅はかりゲームとは別に梅を準備してくださり、完全予防対策をはかりながら、利用者様と梅の軸をとってジュースを作ってくれました。皆様、「美味しい」と、とても喜んでくださいました。</p> <p>これだけではなく、いつもたくさんのレクリエーションを考えてくれ、感謝の思いでいっぱいです。</p>
評	<p>自肅にも疲れてきましたが、なかなか収束の兆しをみせてくれないコロナウイルス。</p> <p>ご利用者が、デイサービスに求めてくださっていることを感じ取りながら、感染対策との間でジレンマを感じスタッフもモチベーションが下がりがちです。その時々でしか感じられない季節を大切にしたい思いを共有し、制限の中でも楽しく、美味しく、回想しながら、来年こそは！と次への活力に変え、雰囲気もみんなの意欲もあがったアイデアをひねりだして下さったことに感謝です。</p> <p>部署内には、趣味嗜好、得意技、知識、性格、役割、気遣いなど、いろんなものをもったスタッフが協働しています。それぞれがもつ素敵な部分をだしあい、また助けてほしい部分も共有し、チームであるからこそ、あらゆることに対応できる力ができます。その力を利用者様へ提供し、利用者様の反応が自分たちのさらなるパワーアップにつながると思えます。それぞれの、いろんな力を、認め合い、感謝し合い、支え合い、どんなことにも負けないチーム作りをしていきたいと感じます。</p>

総評	<p>福祉のしごとに就こうとする人も、ボランティア活動をはじめる人も、動機は様々でしょうがおそらく誰にも共通するのが、「誰かの役に立ちたい」「よろこんでもらいたい」「人を笑顔にしたい」そんな思いではないかと思います。それはまるでヒトという生き物に備わった本能であるかのようです。しかし本能に突き動かされて始めたことであっても、これを長く続けていくことは、しかもその思いを維持し続けることは、決して容易なことではありません。</p> <p>Yさんはボランティアとして、Uさんはケアワーカーとして、その本能的な動機を持ち続けている良い見本です。</p> <p>Yさんにも、「ありがとう」の言葉とともに腕をポンポンとたたいてもらった感触を、ずっと忘れずにいてくれることを願いたいと思います。</p>
----	--